

野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型

運用報告書(全体版)

第3期(決算日2019年12月19日)

作成対象期間(2019年6月20日～2019年12月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2018年10月23日から2028年12月19日までです。	
運用方針	野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、世界各国(新興国を含みます。)の先進医療関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)の先進医療関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比率	式率	株先 物比率	式率	純資 産額
		税分	込配	み期騰 金騰落					
(設定日)	円		円		%	%	%	百万円	
2018年10月23日	10,000		—		—	—	—	29,035	
1期(2018年12月19日)	9,280		0	△7.2	94.4	—	—	53,084	
2期(2019年6月19日)	9,938		0	7.1	96.2	—	—	88,964	
3期(2019年12月19日)	10,816		10	8.9	97.1	—	—	84,621	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比率	式率	株先 物比率	式率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2019年6月19日	9,938		—		96.2		—
6月末	9,888	△0.5			95.1		—
7月末	10,151	2.1			95.9		—
8月末	9,607	△3.3			96.1		—
9月末	9,525	△4.2			97.1		—
10月末	10,147	2.1			97.1		—
11月末	10,828	9.0			97.5		—
(期末)							
2019年12月19日	10,826	8.9			97.1		—

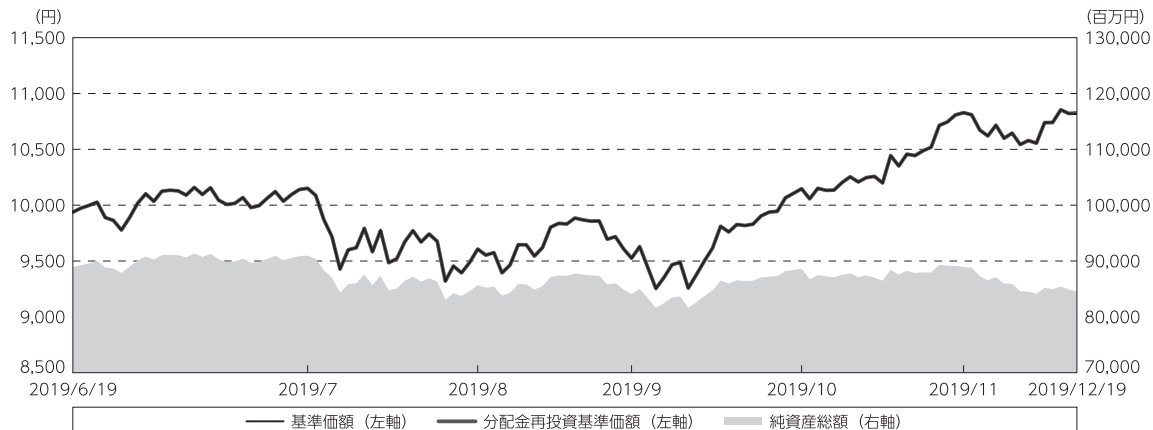
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：9,938円

期 末：10,816円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率： 8.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年6月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首9,938円から期末10,816円となりました。

- ・2019年8月、国民皆保険実現を目指す米民主党議員の支持率が上昇し、同医療制度改革に対する懸念が高まったことから、株式市場が下落したこと。また為替市場で、トランプ米大統領による対中追加関税の発動表明などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、ドル安・円高となったこと。
- ・10月、発表された7-9月期の堅調な企業業績が好感されたこと、また、3月に開発断念が発表されていたアルツハイマー病治療薬の開発再開が報じられ、新薬開発期待から、バイオ医薬品メーカー株を中心に株式市場が上昇したこと。また為替市場で、米中貿易交渉進展期待から投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、ドル高・円安となったこと。
- ・11月、発表されたトランプ米大統領や前述の米民主党議員の医療構想が、予想されていたほど現在の医療制度を変革するものではないという安心感や、スイスの製薬大手企業による米国のバイオテクノロジー企業の買収の発表を受け、更なる買収期待感が高まったことから、株式市場が上昇したこと。

○投資環境

期中の米国株式市場は、米国の金融政策の動向やトランプ政権の通商・外交政策などに左右される展開となりました。こうした中、ヘルスケア株は、2020年の米大統領選挙をにらみ活発化した国民皆保険制度や薬価引き下げなどの医療制度改革を巡る政治論争が嫌気され、軟調に推移する場面もありましたが、10月から11月にかけて、同懸念が後退したことや、ヘルスケア企業の堅調な業績およびM&A（企業の合併・買収）案件の発表が好感されたことなどから、株価は上昇基調となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型〕は、主要投資対象である〔野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 株式への投資にあたっては、インパクト投資※¹およびESG※²の観点を考慮することを基本とします。

※¹ インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なりターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行なわれる投資行動です。

※² ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

- (3) 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行います。
- (4) 期中の売買では、米国の総合ヘルスケア会社などの株式の買い増しを行った一方で、米国の生命科学設備関連会社などの株式の一部売却を行いました。

〔野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型〕

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

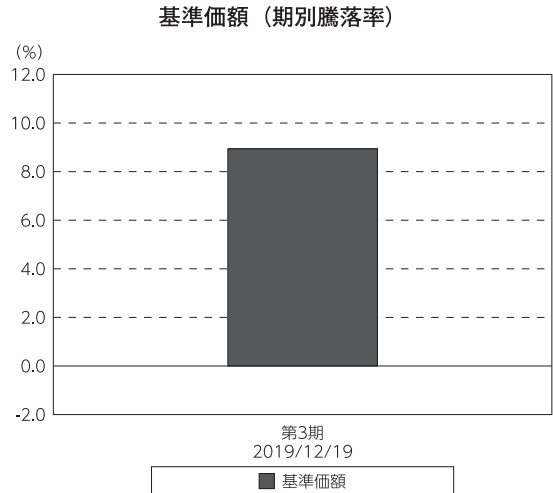
・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり10円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第3期
	2019年6月20日～ 2019年12月19日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.092%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	895

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド]

- ・ヘルスケアセクターの銘柄の株価は、2020年の米大統領選挙をにらみ活発に行なわれている医療制度を巡る政治論争が懸念され、足元神経質な相場展開となっております。しかし恒久的な需要に支えられたヘルスケア企業の業績は堅調で、直近の7-9月期の企業決算でも好調な業績を発表する企業が相次ぎました。更に中長期的に見れば、世界的な高齢化や人々の健康への関心の高まりを背景に、ヘルスケア分野にはこれまで以上の強い需要が見込まれます。当需要に応えるべく昨今様々な技術革新が進む当分野は、引き続き成長が見込めると考えております。
- ・こうした医療・ヘルスケア関連分野ですが、「有効な治療法が確立されていない難病がある」、「世界人口の一定以上は必要な医療サービスを受けられない」、「医療コストが増加し家計を圧迫している」など、多岐にわたる取り組むべき社会的課題を抱えております。当ファンドは「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標達成に寄与すると考える「革新的治療の提供」、「医薬品・医療サービスへのアクセス」、「医療費削減のソリューション」、「効果的な医療機器・サービス等」の4つのインパクト投資テーマを設定し、同投資テーマをもとに、社会的課題の解決に貢献する企業に投資を行ないます。
- ・当ファンドは、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した定量分析で上位に位置する銘柄に対し、インパクト投資およびESG（環境、社会、企業統治）の観点も加えたファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行ない、組入銘柄の選定を行なうことを基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、リスク特性や銘柄分散等を勘案します。

[野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型]

主要投資対象である[野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年6月20日～2019年12月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	91	0.907	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(44)	(0.440)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(44)	(0.440)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(0)	(0.003)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.006	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	92	0.916	
期中の平均基準価額は、10,024円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

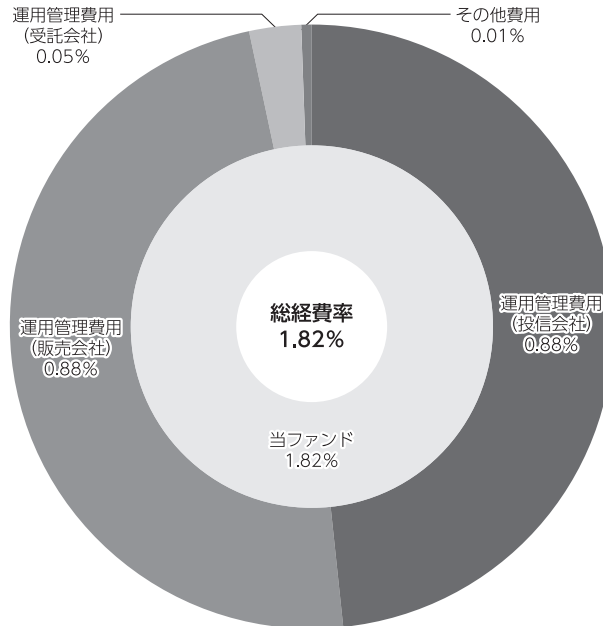
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月20日～2019年12月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	千口 4,910,252	千円 4,996,200	千口 16,758,162	千円 17,394,516

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年6月20日～2019年12月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	32,468,649千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	198,101,514千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.16	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月20日～2019年12月19日)

利害関係人との取引状況

<野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型>
該当事項はございません。

<野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
為替直物取引	百万円 1,184	百万円 -	% -	百万円 27,300	百万円 1,092	% 4.0

平均保有割合 42.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年12月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	88,487,852	76,639,941	84,303,935

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド	84,303,935	97.9
コール・ローン等、その他	1,829,766	2.1
投資信託財産総額	86,133,701	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（197,562,104千円）の投資信託財産総額（200,194,999千円）に対する比率は98.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.72円、1スイスフラン=111.82円、1香港ドル=14.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年12月19日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	86,133,701,568
コール・ローン等	1,109,149,613
野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド(評価額)	84,303,935,955
未収入金	720,616,000
(B) 負債	1,512,055,589
未払収益分配金	78,233,962
未払解約金	647,041,529
未払信託報酬	785,350,514
未払利息	1,733
その他未払費用	1,427,851
(C) 純資産総額(A-B)	84,621,645,979
元本	78,233,962,580
次期繰越損益金	6,387,683,399
(D) 受益権総口数	78,233,962,580口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,816円

(注) 期首元本額は89,517,747,252円、期中追加設定元本額は5,212,923,630円、期中一部解約元本額は16,496,708,302円、1口当たり純資産額は1,0816円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額508,864,558円。(野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド)

○損益の状況 (2019年6月20日～2019年12月19日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 155,148
支払利息	△ 155,148
(B) 有価証券売買損益	7,666,264,904
売買益	8,647,508,674
売買損	△ 981,243,770
(C) 信託報酬等	△ 786,778,365
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,879,331,391
(E) 前期繰越損益金	177,715,206
(F) 追加信託差損益金	△ 591,129,236
(配当等相当額)	(25,698,052)
(売買損益相当額)	(△ 616,827,288)
(G) 計(D+E+F)	6,465,917,361
(H) 収益分配金	△ 78,233,962
次期繰越損益金(G+H)	6,387,683,399
追加信託差損益金	△ 591,129,236
(配当等相当額)	(27,193,323)
(売買損益相当額)	(△ 618,322,559)
分配準備積立金	6,978,812,635

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年6月20日～2019年12月19日)は以下の通りです。

項目	当期
	2019年6月20日～ 2019年12月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	226,151,125円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	6,630,826,391円
c. 信託約款に定める収益調整金	27,193,323円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	200,069,081円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,084,239,920円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	905円
g. 分配金	78,233,962円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日2019年12月19日）

作成対象期間（2018年12月20日～2019年12月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、インパクト投資 ^{※1} およびESG ^{※2} の観点を考慮することを基本とします。 ※1 インパクト投資とは、投資を行う際に経済的なりターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行われる投資行動です。 ※2 ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ分析を行います。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
(設定日) 2018年10月23日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 61,079
1期(2018年12月19日)	9,263	△	7.4	94.9	—	114,027
2期(2019年12月19日)	11,000		18.8	97.4	—	197,862

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

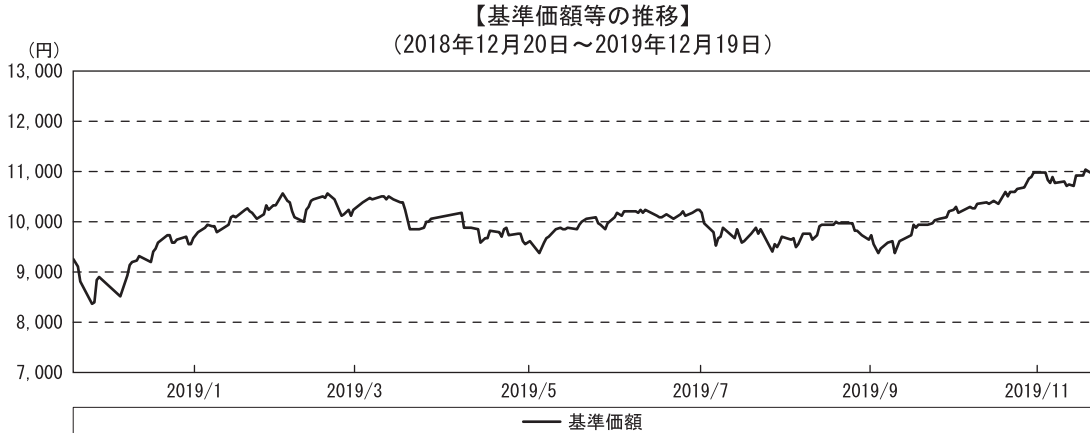
年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率
		騰	落率		
(期首) 2018年12月19日	円 9,263		% —	% 94.9	% —
12月末	8,893	△	4.0	94.6	—
2019年1月末	9,660		4.3	94.5	—
2月末	10,329		11.5	95.0	—
3月末	10,235		10.5	95.5	—
4月末	10,053		8.5	95.4	—
5月末	9,605		3.7	96.3	—
6月末	9,958		7.5	95.6	—
7月末	10,241		10.6	96.5	—
8月末	9,703		4.8	96.6	—
9月末	9,634		4.0	97.5	—
10月末	10,283		11.0	97.6	—
11月末	10,990		18.6	97.8	—
(期末) 2019年12月19日	11,000		18.8	97.4	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首9,263円から期末11,000円となりました。

- ・ 2018年12月、米中貿易戦争の激化・長期化懸念などから世界景気の先行き不透明感が強まり、株式市場が下落したこと。また為替市場で、米政権運営の不透明感や世界的な株安を受け投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ドル安・円高となったこと。
- ・ 2019年1月、大手医薬品企業によるバイオ医薬品企業の大型買収案件が相次いで発表され、買収期待が高まったことや、米医療保険大手企業などの一部ヘルスケア企業が好決算を発表したことから、株式市場が上昇したこと。
- ・ 2月、前月末に米保健福祉省が医薬品に関するリベート（割戻金）の規制案を発表したことを受け、リベート支払い負担の減少が期待されたことや、米中貿易協議の進展や米政府機関の再開回避への期待が高まったことから、株式市場が上昇したこと。
- ・ 4月、公表された「メディケア・フォー・オール（国民皆保険制度）」法案に対する警戒感が高まったことから、株式市場が下落したこと。
- ・ 8月、国民皆保険実現を目指す米民主党議員の支持率が上昇し、同医療制度改革に対する懸念が高まったことから、株式市場が下落したこと。また為替市場で、トランプ米大統領による対中追加関税の発動表明などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、ドル安・円高となったこと。
- ・ 10月、発表された7～9月期の堅調な企業業績が好感されたこと、また、3月に開発断念が発表されていたアルツハイマー病治療薬の開発再開が報じられ、新薬開発期待から、

バイオ医薬品メーカー株を中心に株式市場が上昇したこと。また為替市場で、米中貿易交渉進展期待から投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、ドル高・円安となったこと。

- ・11月、発表されたトランプ米大統領や前述の米民主党議員の医療構想が、予想されていたほど現在の医療制度を変革するものではないという安心感や、スイスの製薬大手企業による米国のバイオテクノロジー企業の買収の発表を受け、更なる買収期待感が高まったことから、株式市場が上昇したこと。

○投資環境

期中の米国株式市場は、米国の金融政策の動向やトランプ政権の通商・外交政策などに左右される展開となりました。こうした中、ヘルスケア株は、2020年の米大統領選挙をにらみ活発化した国民皆保険制度や薬価引き下げなどの医療制度改革を巡る政治論争が嫌気され、軟調に推移する場面もありましたが、10月から11月にかけて、同懸念が後退したことや、ヘルスケア企業の堅調な業績およびM&A（企業の合併・買収）案件の発表が好感されたことなどから、株価は上昇基調となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当期間は以下のような運用を行いました。

- ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

- ・期中の主な動き

- (1) 世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 株式への投資にあたっては、インパクト投資※1およびESG※2の観点を考慮することを基本とします。

※1 インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行なわれる投資行動です。

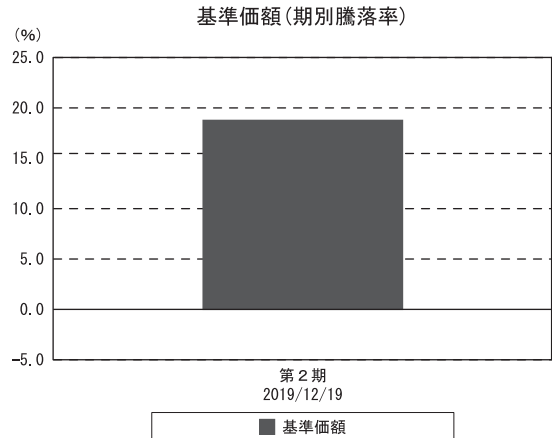
※2 ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

- (3) 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行います。
- (4) 期中の売買では、米国の医療設備関連会社などの株式の買い増しを行った一方で、米国の医療機器メーカーなどの株式の一部売却を行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

- ・ヘルスケアセクターの銘柄の株価は、2020年の米大統領選挙をにらみ活発に行なわれている医療制度を巡る政治論争が懸念され、足元神経質な相場展開となっております。しかし恒久的な需要に支えられたヘルスケア企業の業績は堅調で、直近の7-9月期の企業決算でも好調な業績を発表する企業が相次ぎました。更に中長期的に見れば、世界的な高齢化や人々の健康への関心の高まりを背景に、ヘルスケア分野にはこれまで以上の強い需要が見込まれます。当需要に応えるべく昨今様々な技術革新が進む当分野は、引き続き成長が見込めると考えております。
- ・こうした医療・ヘルスケア関連分野ですが、「有効な治療法が確立されていない難病がある」、「世界人口の一定以上は必要な医療サービスを受けられない」、「医療コストが増加し家計を圧迫している」など、多岐にわたる取り組むべき社会的課題を抱えております。当ファンドは「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標達成に寄与すると考える「革新的治療の提供」、「医薬品・医療サービスへのアクセス」、「医療費削減のソリューション」、「効果的な医療機器・サービス等」の4つのインパクト投資テーマを設定し、同投資テーマをもとに、社会的課題の解決に貢献する企業に投資を行ないます。
- ・当ファンドは、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した定量分析で上位に位置する銘柄に対し、インパクト投資およびESG(環境、社会、企業統治)の観点も加えたファンダメンタルズ(基礎的諸条件)分析を行ない、組入銘柄の選定を行なうことを基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、リスク特性や銘柄分散等を勘案します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年12月20日～2019年12月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 1 (1) (0)	% 0.008 (0.008) (0.000)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.019	
期中の平均基準価額は、9,965円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月20日～2019年12月19日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 87,986 (8,206)	千米ドル 774,624 (16,801)	百株 31,733 (4,103)	千米ドル 278,720 (31,016)
	スイス	1,155	千スイスフラン 30,738	—	千スイスフラン —
	香港	14,710 (491)	千香港ドル 35,526 (—)	7,710 (491)	千香港ドル 6,144 (—)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ SPDR S&P BIOTECH ETF	口 —	千米ドル —	口 126,403	千米ドル 10,235

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○株式売買比率

(2018年12月20日～2019年12月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	120,072,818千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	176,510,751千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.68

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月20日～2019年12月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		B A	%		D C	%
為替直物取引	百万円 86,750	百万円 —	% —	百万円 31,310	百万円 1,092	% 3.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年12月19日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	6,523	10,166	88,380	9,697,148	ヘルスケア機器・用品
ABIOMED INC	815	1,269	22,466	2,465,020	ヘルスケア機器・用品
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	973	—	—	—	バイオテックノロジー
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	2,125	1,747	19,085	2,094,053	バイオテックノロジー
ALIGN TECHNOLOGY INC	295	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
ALLSCRIPTS HEALTHCARE SOLUTIONS INC	10,640	8,760	8,383	919,869	ヘルスケア・テクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	1,699	2,747	31,694	3,477,508	バイオテックノロジー
ARGENX SE-ADR	—	1,313	21,140	2,319,481	バイオテックノロジー
BIOGEN INC	1,263	1,820	53,998	5,924,676	バイオテックノロジー
BIO TECHNE CORP	1,249	1,829	39,515	4,335,647	ライフサイエンス・ツール/サービス
BLUEBIRD BIO INC	1,107	2,005	18,822	2,065,208	バイオテックノロジー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	1,839	2,943	23,038	2,527,750	バイオテックノロジー
BOSTON SCIENTIFIC CORP	9,828	16,238	72,651	7,971,346	ヘルスケア機器・用品
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	7,099	19,678	124,269	13,634,846	医薬品
BRISTOL-MYERS SQUIBB-CVR RTS	—	4,103	1,087	119,300	医薬品
CVS HEALTH CORP	4,404	9,346	68,488	7,514,599	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CELGENE CORP	2,114	—	—	—	バイオテックノロジー
CERNER CORP	3,162	3,493	25,208	2,765,831	ヘルスケア・テクノロジー
DANAHER CORP	—	3,970	59,560	6,534,985	ヘルスケア機器・用品
DENALI THERAPEUTICS INC	—	4,571	8,453	927,469	バイオテックノロジー
EDITAS MEDICINE INC	3,466	3,750	12,027	1,319,611	バイオテックノロジー
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	2,644	2,844	67,031	7,354,701	ヘルスケア機器・用品
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	7,185	10,464	29,498	3,236,547	医薬品
EVOLENT HEALTH INC-A	4,237	4,624	3,380	370,948	ヘルスケア・テクノロジー
GILEAD SCIENCES INC	4,289	7,337	48,192	5,287,731	バイオテックノロジー
HEALTH CATALYST INC	—	3,904	12,159	1,334,186	ヘルスケア・テクノロジー
IDEXX LABORATORIES INC	1,291	964	24,404	2,677,629	ヘルスケア機器・用品
ILLUMINA INC	762	1,290	41,977	4,605,728	ライフサイエンス・ツール/サービス
IMMUNOMEDICS INC	4,960	2,342	4,717	517,636	バイオテックノロジー

銘柄	株数	株数	期首(前期末)		業種等	
			当期			
			評価額	金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
INTUITIVE SURGICAL INC	882	1,389	82,305	9,030,612	ヘルスケア機器・用品	
IONIS PHARMACEUTICALS INC	3,246	5,061	31,385	3,443,595	バイオテクノロジー	
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	1,409	2,256	23,825	2,614,107	バイオテクノロジー	
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,363	2,407	89,397	9,808,652	バイオテクノロジー	
SAGE THERAPEUTICS INC	1,053	2,171	15,568	1,708,168	バイオテクノロジー	
SPARK THERAPEUTICS INC	2,137	—	—	—	バイオテクノロジー	
STRYKER CORP	2,058	3,866	80,631	8,846,940	ヘルスケア機器・用品	
TANDEM DIABETES CARE INC	—	834	5,307	582,329	ヘルスケア機器・用品	
TELADOC HEALTH INC	1,516	2,403	19,455	2,134,653	ヘルスケア・テクノロジー	
UNITEDHEALTH GROUP INC	3,290	5,328	156,078	17,124,965	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	2,308	1,744	24,786	2,719,606	ヘルスケア機器・用品	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	1,204	2,200	31,796	3,488,754	ヘルスケア・テクノロジー	
VERTEX PHARMACEUTICALS	1,364	1,738	38,128	4,183,412	バイオテクノロジー	
WATERS CORP	1,179	791	18,115	1,987,683	ライフサイエンス・ツール/サービス	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	3,740	3,693	54,983	6,032,769	ヘルスケア機器・用品	
ZOETIS INC	2,356	4,036	51,262	5,624,486	医薬品	
小計	株数・金額	113,096	173,453	1,652,663	181,330,204	
	銘柄数<比率>	39	41	—	<91.6%>	
(スイス)			千スイスフラン			
ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)	1,468	2,624	79,829	8,926,482	医薬品	
小計	株数・金額	1,468	2,624	79,829	8,926,482	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.5%>	
(香港)			千香港ドル			
MICROPORT SCIENTIFIC CORP	45,930	38,220	31,378	442,124	ヘルスケア機器・用品	
SHANGHAI FOSUN PHARMACEUTI-H	50,225	64,935	146,753	2,067,751	医薬品	
小計	株数・金額	96,155	103,155	178,131	2,509,875	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<1.3%>	
合計	株数・金額	210,719	279,232	—	192,766,563	
	銘柄数<比率>	42	44	—	<97.4%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

2019年12月19日現在の組入れはございません。

銘柄	株数	期首(前期末)	
		口数	口数
(アメリカ)			
SPDR S&P BIOTECH ETF			126,403
合計			126,403
	銘柄数	口数	1

○投資信託財産の構成

(2019年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	192,766,563	96.3
コール・ローン等、その他	7,428,436	3.7
投資信託財産総額	200,194,999	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (197,562,104千円) の投資信託財産総額 (200,194,999千円) に対する比率は98.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.72円、1スイスフラン=111.82円、1香港ドル=14.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年12月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	200,194,999,274
コール・ローン等	5,773,124,473
株式(評価額)	192,766,563,170
未収入金	1,609,663,886
未収配当金	45,647,745
(B) 負債	2,332,930,115
未払解約金	2,332,926,000
未払利息	4,115
(C) 純資産総額(A-B)	197,862,069,159
元本	179,882,543,102
次期繰越損益金	17,979,526,057
(D) 受益権総口数	179,882,543,102口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,000円

(注) 期首元本額は123,093,301,192円、期中追加設定元本額は101,340,098,925円、期中一部解約元本額は44,550,857,015円、1口当たり純資産額は1,1000円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型 76,639,941,778円
・野村ACI先進医療インパクト投資 Dコース 為替ヘッジなし 予想分配金提示型 47,247,877,612円
・野村ACI先進医療インパクト投資 Aコース 為替ヘッジあり 資産成長型 38,114,906,746円
・野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型 17,879,816,966円

○損益の状況 (2018年12月20日～2019年12月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,270,395,260
受取配当金	1,204,235,668
受取利息	67,387,769
支払利息	△ 1,228,177
(B) 有価証券売買損益	27,774,984,743
売買益	37,458,133,741
売買損	△ 9,683,148,998
(C) 保管費用等	△ 17,689,188
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,027,690,815
(E) 前期繰越損益金	△ 9,066,255,748
(F) 追加信託差損益金	△ 533,598,925
(G) 解約差損益金	△ 1,448,310,085
(H) 計(D+E+F+G)	17,979,526,057
次期繰越損益金(H)	17,979,526,057

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2019年12月19日現在)

年 月	日
2019年12月	25
2020年 1月	20
2月	17
3月	－
4月	10
5月	25
6月	－
7月	3
8月	－
9月	7
10月	12
11月	11、26
12月	25

※ 2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。